

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

名称：	ルーラルホーム蓮田	種別：	共同生活援助
代表者氏名：	施設長 山本 量彦	定員(利用人数)：	16 名
所在地：	〒 349-0101 埼玉県蓮田市大字黒浜765番地5	TEL	048-884-9460

③評価実施期間

令和 6 年 1 月 19 日 (契約日) ~ 令和 6 年 3 月 20 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

大規模な野菜栽培や米作を行っている事業者が、障害者の就労を支援するために指定共同生活援助事業（株式会社ルーラルライフ）と指定就労継続支援事業（特定非営利活動法人福祉ファーム里山）を行っている。法人グループでは、共同生活援助と就労継続支援を一体的に行い、農業に関わる一般就労と、自立した生活を段階的に目指した独自性のある支援を行っている。共同生活援助においては、利用者は自分で起床し、調理、洗濯、清掃等を自分で行き、自分で毎日作業場所に通う（自転車）ことを支援しており、意図的に職員の支援を最小限にとどめている。就労継続支援においては、利用者がやりがいを感じて主体的に農作業に関わることができるように労働意欲や理解力、判断力、得手不得手等に応じた支援を行っている。一般就労を実現した利用者もいる（農業以外の就労を希望する利用者には、必要な支援を行っている）。共同生活援助の平均利用年数は、年々伸長している（本第三者評価実施時の平均利用年数は4年10か月となっている）。

◇特にコメントを要する点

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行された新しい生活様式の中でも一定の制約が残り、また、就労継続支援における作業に携わる上で知識や技術等を習得することもストレスや不安定さの要因になり得る。自立した生活や一般就労を目指した継続的な取り組みを行う上で、これらのリスクを軽減することも必要になるため、共同生活援助のサービス管理責任者が「休日ツアー」と称した外食の支援や、買い物に行く支援等を就労継続支援の作業がない日に行っているが、今後、これらの支援を安定的に行う体制を更に整備することが課題となっている。また、就労継続支援において生産性や栽培規模の拡大を計画していることに伴う、職員の増員も長期的な課題としている。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

前回第三者評価が行われた令和2年の段階では、期間損益の黒字化を達成し、利用者も増加していましたが、その後、新型コロナの流行拡大により、再度赤字となってしまいました。本年度、社会活動が回復してきたところで、新規ご利用者を迎えたところであり、これから黒字化を目指します。コロナ禍で様々な制約がある中、少しでも良い支援を行いたいと力を入れてきた「休日ツアー」等の支援や、就労継続支援との連携を強化するなどの活動を今回評価していただけたことを大変うれしく思います。来年度も事業計画に則って運営を行うとともに、職員の増員等の課題の解消に努めていきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり